

令和2年度 なし施肥基準

JAふくしま未来 福島地区なし専門部会

☆黒星病の発病抑制のため、徒長させないように施肥量の見直しを図りましょう。

当地区でみられる収穫前の窒素の運効きは、収穫時期の遅れや、新梢の遅伸び及び二次伸長による花芽分化率の低下や充実にも影響していると考えられます。また、秋季の気温も高いことから落葉期が遅れ、黒星病の感染時期も長引く危険性が高まります。

1. 礼肥 収穫終了後速やかに施用する。《本年は結実不良による樹体負担が軽いため控える》
2. 元肥 『幸水』『豊水』『あきづき』は秋と春に分肥し土壌条件により施用量を調整する。
『二十世紀』は秋元肥を基本とする。
3. 追肥 『幸水・豊水』樹勢に応じて施用する。

☆令和1～2年になし専門部員を対象に土壌分析を実施した結果、pH5.0以下の酸性に傾いている園地が43園地中17件でみられました。多窒素施肥は土壌の酸性化を促進する傾向にあり、pH4.0台の酸性の土壌では発育枝の遅伸びや品質の低下などの症状を招きやすくなります。

○施肥のワンポイント

◀ナシの生育に適する土壌pHは『5.5～6.5の微酸性です。』

☆毎年毎に土壌分析を実施し、圃場状況を把握し施肥の実施をお願いします。

【 幸水・豊水・あきづき 】

○施用例タイプ①

						◀10aあたり▶
施肥時期	肥料名	施肥量	成分量			備考
			窒素	リン酸	加里	
礼肥	燐硝安加里 S604	1.5袋	4.8	3.0	4.2	幸水：9月、豊水：10月
元肥(秋)	みらいる物語 なし基肥	4袋	8.0	7.2	4.8	幸水：10月、豊水：11月
元肥(春)	みらいる物語 なし追肥	3袋	7.2	3.6	4.8	3月
合計			20.0	13.8	13.8	

○施用例タイプ②

						◀10aあたり▶
施肥時期	肥料名	施肥量	成分量			備考
			窒素	リン酸	加里	
礼肥	燐硝安加里 S604	1.5袋	4.8	3.0	4.2	幸水：9月、豊水：10月
元肥(秋)	みらいる物語 くだものオールスター	5袋	10.0	6.0	6.0	幸水：10月、豊水：11月
元肥(春)	みらいる物語 くだものオールスター	3袋	6.0	3.6	3.6	3月
合計			20.8	12.6	13.8	

【 二十世紀 】

						◀10aあたり▶
施肥時期	肥料名	施肥量	成分量			備考
			窒素	リン酸	加里	
礼肥	燐硝安加里 S604	1袋	3.2	2.0	2.8	10月
元肥(秋)	みらいる物語 なし基肥	8袋	16.0	14.4	9.6	11月
合計			19.2	16.4	12.4	

【 追肥 】

生育期間中に葉色が淡くなるなど、肥切れ症状が発生した場合に実施すること。

その際は、速効性肥料を施用する。(チツソ成分で、2～4kg程度)

【樹勢回復対策】

①セリファーム(粒状：15kg入り)… 幹元3m以内で成木1本に2～3kg施用(秋と春)

※高温乾燥の際は、かん水を実施してください。

※施用量・施肥時期は、土壌条件、収量、樹齢、樹勢により適宜調整してください。

※各成分調整については、専用肥料で補うようにしてください。

※土壌のPHの調整については、土壌分析を実施し適宜調整してください。

※土壌分析実施のお問い合わせは、各営農センターまたは資材店をお願いします。